

導入事例

デジタル
サイネージ

学校法人 東海大学 札幌キャンパス

大学内の掲示板をデジタルサイネージ化 情報の発信力・伝達力を高め、学生生活をサポート!



最先端の教育・研究施設を備える学校法人 東海大学 札幌キャンパス様。このたび、学内の掲示板のうち3箇所をデジタルサイネージ化するため、「4K対応ワイド液晶ディスプレイ」と「小型パソコンCLIP PC」などを導入されました。掲示板の電子化によっていかに情報の発信力・伝達力が向上したのか。東海大学教育学部札幌教学課の平井直輝様にお話を伺いました。

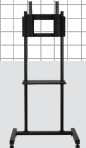
導入商品



49型 4Kディスプレイ
LCD-M4K491XDB
※後継モデルLCD-M4K492XDB



Windows 10 IoT
Enterprise搭載 CLIP PC
CLPC-32WE1



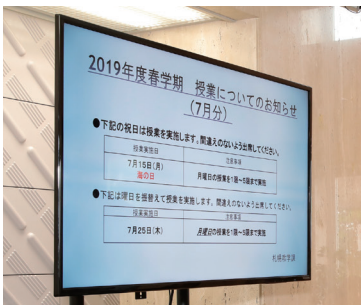
耐荷重最大50kg
移動式ディスプレイスタンド
DA-DS2

ホームルームのない大学生に、確実に情報を伝達するために。

東海大学は全国各地にキャンパスを持っており、出張の際にサイネージを導入しているのを見てきたので、「大学生が情報を得るには動く媒体のほうが目を引く」と課内に提案して導入しました。高校までと違って大学にはホームルームがありませんし、我々教職員も含めて「自己責任で行動」と促しています。奨学金の手続き、履修登録の締め切りなど、優先順位をつけて見逃してはいけない情報を確実に伝えるために使っています。アイ・オー・データ機器のサイネージとは、学内で展示会が開催された際に出会いました。月額課金ではなく購入後の管理費用などが発生しないこと。パソコンのスキルが高くなくても使いやすいこと。複数台入れられる予算に収まること。この機能とコストのバランスが取れていたのがアイ・オー・データ機器だけでした。マイクロソフトのパワーポイントをPDFに変換するのが容易になったので、簡単な案内板であればすぐつくれます。放映スケジュールを組むのも、「時間割看板」ソフトを開いてデータをドラッグ・アンド・ドロップするだけ。ふだんマイクロソフトを使っていれば慣れ親しんだ方法で扱えます。



情報を「読む」から「見る」にシフトし、注目度・印象度を向上!



従来は紙の掲示物を教学課用の掲示板に張り出していました。大判プリンターの印刷コストも不要で、準備が楽になり、紙の掲示物を保管するスペースも必要ありません。コンテンツはUSBメモリーに保存して都度サイネージに出向いて更新しています。3台の設置場所が異なるので、場所ごとに内容を変えることを意識して個々にコンテンツを入れています。例えばメイン玄関は対外的なお客様もご覧になる場所なので、クラブ活動の情報や大学のPR動画などですね。学生の掲示板コーナーでは学生生活に重要な内容をピックアップして載せています。教学課の窓口前で置いているものは満遍なく網羅しています。学生は紙だけの掲示板より注目してくれていると思います。紙だと盛りだくさんに書いてしまいがちですが、サイネージは読み物ではない。例えば注意事項など細かなことは触れずに「締め切りは何日まで」とだけを強調するので、記憶に残りやすいのもメリットだと思います。本運用は4月からでしたが3月の卒業式の日1日だけ出して、大学のエンブレムを表示する画面に「祝卒業」と入れたら、記念写真を撮る卒業生がいました。紙の掲示板だと撮らないと思うので、それもサイネージ効果かもしれないですね。

「すべては学生のために」を基本原則に、全学を挙げた活用を。

今後は台数を増やせれば増やしたい。食堂に置けば滞留時間も長いので、もう少し情報周知できると思います。改善したい点は、コンテンツの更新を学内ネットワークを活用して運用したいですね。大学のSNSで担当者が今日のラベンダーの様子を上げているので、それをサイネージに反映させて和みのコーナーとしても活用できればとも考えています。他にもいろいろな部署で様々な取り組みがあるので、資料やチラシなどをつくらしたら「NASのこのホルダーにアップしてください」と決めて一括更新できる体制を築きたい。我々には「すべては学生のために」という基本原則があるため、学内全体で活用できることが私の一番の思いです。例えば、本学の箱根駅伝優勝はサイネージを設置する前のニュースだったので、次も勝ってぜひサイネージで流したい。他にも画面下に天気予報をテロップで流したいなど、夢はまだあります。卒業する時のアンケート調査で「情報が常に得られてよかった」と言ってもらえるよう、全力で取り組んでいきたいですね。



教育学部 札幌教学課 平井 直輝 様

CLIENT DATA

学校法人 東海大学 札幌キャンパス 様

全国にキャンパスを展開する総合大学として常に教育改革を推進。札幌では国際文化学部・地域創造学科・国際コミュニケーション学科・デザイン文化学科を、生物学部に生物学科・海洋生物学科を有し、最新の研究に取り組むとともに、その成果の社会還元に努めている。

©<https://www.u-tokai.ac.jp/about/campus/sapporo/>

